ガクアジサイ

にほんの よみかた

がくあじさい

23

アジサイ科

名前のゆらい

- 装飾花(ガク)がめだつから周りの大きい花に見えるけど、それは花じゃなくていちばん外側にあるもので、まん中にあるつぶつぶが花である。

ガクアジサイの見分け方

- アサガオのような実(み)で、長さは6～９mmのたまご🥚の形
- 木の皮ははい色で、あさいわれ目がたてに入り、うすくはがれたすい。
- ガクアジサイはふつうのアジサイのもとで、西洋人(せいようじん)が、ガクアジサイを自分たちの国に持ち帰り、品種改良(ひんしゅかいりょう)してふつうのアジサイができた。

そのほか

- 花の色(色素)と合わさって青色になると言われています。
- ふつうのアジサイと西洋(せいよう)アジサイで、日本のガクアジサイを品種改良(ひんしゅかいりょう)しました

ガクアジサイ

和名	額紫陽花	23
別名	ガクバナ、ガクソウ	

分類				
	科（APG分類）	アジサイ科	属	アジサイ属
	科（旧分類）	ユキノシタ科	属	
	科（旧分類）		属	

名前の由来

・小さな花を額が額縁のように囲んで咲く姿から
・装飾花（ガク）が目立つので
周りの大きい花に見える部分は花ではなくガクで、真ん中の粒々が花になる。

樹木の特徴

・ガクアジサイは一般的なアジサイの原種で、西洋人がガクアジサイを自国に持ちかえり「品種改良」してアジサイができた。
・房総半島、三浦半島、伊豆半島、四国足摺岬に分布する落葉半常緑低木。
日本固有種。
・装飾花と両性花があり、花期は6～7月新枝の先に集散花序をつくる。装飾花の萼片は円形で3～5個あり白色から青紫色。両性花の花筒は倒円錐形で小さな花弁が5個で、長さ約3mmの卵状長楕円形で淡青紫色。
・果実はさく果で、長さ6～9mmの卵形ないし長楕円形。
・樹皮は灰褐色で、すじ状の浅い割れ目が縦にはいり、薄くはがれる。
・葉は対生し、長楕円形～卵状楕円形。

用途・その他

アジサイ（紫陽花）の花の色と土壌の酸度

ときどきアジサイの花色が購入した時と変わってしまったということを耳にしますが、そ
土壌の酸度が変わったことと関係します。アジサイの花は土壌が酸性で青色に、中性
アルカリ性で赤色や桃色に変わる傾向があります。これは土壌中のアルミニウムが酸
の時に溶け出しアジサイに吸収され、花の色素と結合して青色になると言われていま

・ドイツの医師シーボルトは、日本滞在中に多くの植物の採取や調査にも力を注ぎ、美
日本固有種であるアジサイ（紫陽花）を世界に紹介しました。一般的な大輪のアジサイ
西洋アジサイで、日本原産のガクアジサイを品種改良して日本に戻ってきたものです

作成年月日　2021，09，07